

塾歌

富田正文作詞

1
見よ
風に鳴るわが旗を
新潮寄するあかつきの
嵐の中にはためきて
文化の護りたからかに
貫き樹てし誇りあり
樹てんかな この旗を
強く雄々しく樹てんかな
あゝわが義塾
慶應 慶應 慶應
2
往け
涯なきこの道を
究めていよ、遠くとも
わが手に執れる炬火は
叡智の光あきらかに

3
起て
日はめぐる丘の上
春秋ふかめ揺ぎなき
學びの城を承け詞ぎて
執る筆かざすわが額スガの
徽章シムシムの譽世に布かん
生きんかな この丘に
高く新たに生きんかな
あゝわが義塾
慶應 慶應 慶應

部歌

富田正文作詞
明本京静作曲

1
我等が若き魂の
光と影を彩アヤとして
往く春秋の闘いに
鎧ヨロイいなれたる
ユニフォーム
今ぞ讚えん
（慶應 慶應 慶應）
フレ フレ
2
時ぞ今
我等が若き魂の
雄叫びあげて立つところ
上るや天の龍卷の
珠を抱ける意氣と熱

3
時ぞ今
我等が若き魂の
命の祭り華やかに
歴史を携ドキう勝負ドウキの
丘ミダマの精魂スガに響かせて
今ぞ歌わん
（慶應 慶應 慶應）
フレ フレ
時ぞ今。
（エール）
フレ~~~~慶應
フレ~~~~慶應
バスケットボール~
慶應ティーム フレ

若き血

堀内敬三作詞

若き血に燃ゆる者
光輝みてる我等
希望の明星仰きて此處に
勝利に進む我が力
常に新し
見よ精鋭の集う處
烈日の意氣高らかに
遮る雲なきを
慶應 慶應
陸の王者 慶應

第 1 回

慶應バスケットボール祭



員 対

東	三田	慶	義	塾	中	野	学	園	体	育	館
大	野	川	木	野	小	吉	市	川	野	大	野
夫	木	野	木	野	小	吉	市	川	野	大	野
夫	木	野	木	野	小	吉	市	川	野	大	野

場所 杉野学園体育館
期日 昭和29年3月28日(日)
午前 11 時 開会
主催 慶應義塾バスケットボール三田会

プログラム

- 11.00 開 会 会長挨拶
- 11.20 会長杯争奪 普通部-中等部對抗定期戦 (6分クォーター)
- 12.20 全慶應高校-大學B 對抗戦 (10分ハーフ)
- 13.00 子供リレー競争
- 13.10 幼稚舎部員 紅白試合 (5分ハーフ)
(男・女各二試合)
- 13.30 男女二人三脚 ドリブル競争
珍 競 走 (来賓、先輩、現役)
- 14.00 超OB-全女子 對抗戦 (8分ハーフ)
- 14.30 フリースロー競技 (家族、来賓)
- 15.00 OB-大學A模範試合 (8分クォーター)
- 16.00 腕 自 慢
の ど 自 慢
部歌、塾歌、合唱
- 16.40 閉 会
閉會後、スクエアダンス、社交ダンス。

- ★コート使用時間の關係上 各競技の進行は予定時間通りに行いたく、出場者各位の積極的な御協力をお願い致します。
- ★晝食時として特に指定してございませんから、各自適當な御時間にお取り下さい。
- ★その他御不明の点、或いは御用などのおありの切は役員又は現役學生に遠慮なくお申し出下さい。

御來場の皆様へ

本日は公私御多端の折にも拘らず遠路わざわざ御参加下さり誠に有難うございました。

御承知の如くこのバスケットボール祭は初めての催しでもあり、設備万端不行届の点多々ございませうが、皆様方の御協力に依りまして、全塾バスケットボール關係者がお互の親睦を計るべく、今日一日を楽しく過すことが出来れば幸いです。

尚、當祭の開催に當り多大の御快援を賜りました諸先輩方、並びに現役父兄の方々に對し厚く御禮申し上げますと共に、今後この慶應バスケット祭を毎年の行事として益々發展致さすべく皆様方の御支援と御協力の程を切にお願い致す次第でございます。

慶應義塾バスケットボール三田会

会長 玉 置 源 一郎

(後援者御芳名)

○今回の催しにつきましては、左記の方々から特に御寄贈を賜りましたことを、此處に御芳名を掲げて深く謝意を表します。

- 大野 勇殿 (森永乳業)
- 石橋 藏殿 (森永商事)
- 国分 一殿 (国分商店)
- 辻川 貫一郎殿 (玉置藥業)
- 市川 又助殿
- 劉富之助殿
- 玉置 源一郎殿
- 佐藤 好朝殿 (文祥堂)
- 藤井 利次殿 (アサヒ麥酒)
- 西郡 正三殿
- 永井 謙臣殿
- 辻井 瞭二殿
- 現役女子學生諸姉及父兄殿

役員

役員長	廣 瀬 勝 邦	会 場	吉 岡 昭
總 務	喜 多 光 男	進 行	市 川 万 次
	宮 宇 地 邦 夫	審 判	小 原 廣 忠
	内 海 淳	放 送	松 木 俊 夫
案内接待	原 田 利 彦	救 護	關 本 昌 弘
	馬 場 敏 子		成 澤 康 弘
	寺 尾 香 苗		秋 山 善 弘